1　国語

学校番号	414

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	改訂版　現代文Ｂ（数研出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）常用漢字ダブルクリア（尚文出版）ニューエイジ現代文必修２（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ

社会に出るうえで必要な「話す・聞く能力」「書く能力」を身につけるためには、まずは様々な文章を「読む」ことが大切です。あらゆる文章を読み、話し合いや文章記述発表など、アクティブな活動に取り組むことで、確実な力を養い、「言葉」を味方につけましょう。
・予習として必ず本文を読んでおくこと。何より授業の後の復習が大事です。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の目標

☆近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

【到達目標】・文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わうことができる。
・様々な角度から検討した自分の考えを持ち、論理の構成や展開を工夫して意見を述べることができる。
・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うことができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	【関心・意欲・態度】	【話す・聞く能力】	【書く能力】	【読む能力】	【知識・理解】
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに，国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして，自分の考えを深め，発展させている。	必要な情報を用い，相手や目的，課題に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えを深め，発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり，目的に応じて幅広く読んだりして，自分の考えを深め，発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め，知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検	行動の観察	記述の確認及び分析	記述の確認及び分析	行動の観察 記述の確認
	ノート ワークシート等	発表等のパフォーマンスの評価	ワークシート	ワークシート 定期考査	ノート ワークシート等 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	単元(学習)目標	主な評価の観点					具体的な評価規準例	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	国境を越える言葉	・文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味，用法を的確に理解する。				◎	○	d　文章の構成を確かめ，筆者が主張する「もう一つの言葉」について的確にとらえている。【読】ｄｅ文章の展開において逆接の接続詞が果たす役割を意識している。【読】【知・理】 e抽象的･比喩的な表現の内容をとらえている。【知・理】	d（記述の分析→定期テスト） ｄｅ（記述の点検→定期テスト） e（記述の点検→定期テスト）
	「内的成長」社会へ	・文章を読んで批評することを通して，人間，社会について自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・語句の意味，用法を的確に理解する。	○		◎	○	○	a自分の生きる社会に関心を持っている【関】 ｃｄ「中間社会」の現状と課題をそれぞれ箇条書きにしてまとめている。【読】【書】 e哲学的な意味を持つ語句について，その内容を理解している。【知・理】	a授業観察（ノート） ｃｄ（記述の分析→ノート） e（記述の確認→定期テスト）
	山月記	・文章を読んで，構成を的確にとらえる。 ・文章を読んで，人物，心情の描写などを的確にとらえる。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。		○		◎	○	d「李徴」の人柄や心情の推移を的確にとらえ，人間が虎になるという作品設定の意図について考察している。【読】 b「李徴」が虎になる前と後での心情の変化を話し合って意見を交換している【話】 d文章に描かれている人物の心情を表現に即して読んでいる。【読】 e漢文調の文体や語句が作品にもたらす表現上の効果を理解している。【知・理】	d（行動の確認→ワークシート・定期テスト） b（グループワーク） d（行動の分析→定期テスト） e（行動の観察→定期テスト）
	小諸なる古城のほとり	・文章を読んで，情景を的確にとらえ，表現を味わう。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。	○			◎	○	a作者が作品をつくった背景に関心を持って味わっている【関】 d詩に描かれている情景を，語句や表現に注意して読み，主題を的確にとらえている。【読】 e文語表現や否定表現による効果をとらえている。【知・理】	a授業観察（ワークシート） d（行動の分析→定期テスト） e（行動の観察→定期テスト）
二学期	科学・技術の歴史の中での社会	・文章を読んで批評することを通して，人間，社会，自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・語句の意味，用法を的確に理解する。				◎	○	d科学・技術の歴史を読み取り，「『道具』としての意味合いを持った科学」の内容を的確にとらえ，科学と社会との関わり方について自分の考えを深めている。【読】 e外来語の意味と用法を的確に理解し，説明している。【知・理】	d（行動の分析→ワークシート） e（記述の確認→定期テスト）

	こころ	・文章を読んで，筆者の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わう。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。				◎	○	d登場人物の心情を表現に即してとらえたり，自分の考えをまとめたりして，筆者がこの作品で描きたかったことについて考察している。【読】 e「私」と「K」の下宿において，「仕切りの襖」がどのような場面で使われ，どのような効果を上げているかなどの描写の意図を理解している。【知・理】	d（行動の分析→定期テスト） e（記述の確認→定期テスト）
	日本語は非論理的か	・文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえ，その論理性を評価する。 ・語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。				◎	○	d文章の筋道を的確にとらえ，その論理性を評価している。【読】 e日本語として定着しているあいまいな表現を論理的に言い換えている。【知・理】	d（記述の分析→ノート） e（記述の確認→ノート・定期テスト）
三学期	俳句	・俳句を読んで，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わう。 ・語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てる。			◎	○	○	d十七文字のリズムや切れ字をふまえて俳句を読んでいる。【読】 c作品から感じ取ることができる発想の豊かさ，構成や展開の工夫，表現の特色などをとらえ，適切な表現の仕方で鑑賞文を書いている。【書】 e作品の表現上の工夫を理解し，感動の中心をとらえている。【知・理】	d（行動の観察→ワークシート・定期テスト） c（記述の分析→ワークシート） e（行動の確認→グループワーク）
	文学のふるさと	・文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえ，その論理性を評価する。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。				◎	○	d筆者の，三つの物語を挙げた意図と，「文学」の扱い方についての考えを的確にとらえ，その論理性を評価している。【読】 e文章中の比喩表現の内容を理解し，その効果をとらえている。【知・理】	d（記述の分析→定期テスト） e（行動の確認→定期テスト）

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。